

2015年11月30日

報道関係者各位

飯田橋駅中央地区再開発準備組合  
野村不動産株式会社

## 飯田橋駅中央地区再開発事業 本格始動 ～事業協力者に野村不動産選定～

飯田橋駅中央地区再開発準備組合(2015年9月設立、理事長:穂保 国雄)は、千代田区飯田橋四丁目及び富士見二丁目の一部他(以下「飯田橋駅中央地区」)の再開発計画につき、事業協力者として野村不動産株式会社(本社:東京都新宿区/取締役社長:宮嶋 誠一)を選定し、具体的な計画策定に着手したことをお知らせいたします。

「飯田橋駅中央地区」は、開発のすすむ飯田橋駅西口地区とアイガーデンエリアをつなぐ重要な地区です。また、JR 飯田橋駅東口と、目白通りが交差する大変人通りの多い立地であるにも関わらず、広場空間がないことがまちの課題として長年取り上げられており、まちづくりの気運が高まっている地区でもあります。

「飯田橋・富士見地域まちづくりガイドライン(案)」をはじめとする上位計画に習い、まちづくりの目標を『駅前広場一体型複合都市拠点の形成』とし、下記項目を重視し、計画を行ってまいります。

### 1. 交通機能整備

合理的な道路整備、駅前広場整備をはじめとする安全な歩行空間の拡充によって、地下と地上を積極的につなぎ、みどりと賑わいのネットワークを強化します。同時に、目白通りから奥まった住宅棟周辺は、やすらぎを大切にしたい屋外空間を創出します。

### 2. まちづくり

駅前広場・ゆとりある歩道状空地などを整備するとともに、これに面して店舗ゾーンを計画します。ゆとりある屋外空間と合わせて店舗を整備することで、立体的に賑わいの広がる風景を創出します。

### 3. 大災害時対策

東西線の改札口と JR 駅東口をつなぐ通路に面して立体的な駅前広場『駅前プラザ』を整備することで、周辺の歩行者ネットワークの拠点となる広場にするとともに、大災害時には、帰宅困難者の一時待機スペースとしても機能する広場とします。

野村不動産は隣接街区である富士見二丁目北部地区第一種市街地再開発事業(名称:飯田橋プラーノ、2009年(平成21年)3月完成)において、特定業務代行者及び参加組合員として参画し、住宅、事務所、店舗を中心とした複合再開発に取り組んでまいりました。今後も再開発が進む飯田橋駅周辺地区において権利者や千代田区の皆様とともに飯田橋駅の玄関口にふさわしいランドマークとなる街づくりに協力してまいります。

### 【飯田橋駅中央地区市街地再開発事業 事業概要】

|        |   |
|--------|---|
| 位置     | 千代田区飯田橋四丁目8番及び9番、富士見二丁目6番の一部(下図参照)  |
| 施行区域面積 | 約1.0ha  |
| 従前権利者数 | 53名(うち、土地所有者41名、借地権者12名)  |
| 従前建物棟数 | 35棟(登記簿情報による)   |
| 地域地区   | 商業地域(700%、500%)、第二種住居地域(400%)   |
| スケジュール | 2015年度(平成27年度)9月 飯田橋駅中央地区再開発準備組合設立<br>2016年度(平成28年度) 都市計画決定(予定)<br>2017年度(平成29年度) 組合設立認可(予定)<br>2018年度(平成30年度) 権利変換計画認可(予定)<br>2019年度(平成31年度) 除却・本体工事着工(予定)<br>2022年度(平成34年度) 工事完了・竣工(予定) |
| 計画建物用途 | 業務、商業、住宅、その他(予定)  |

### 【位置図】



### 【お問合せ先】

飯田橋駅中央地区再開発準備組合 事務局(大島) TEL 03-6380-8865  
野村不動産株式会社 広報部(半田・阿部・相澤) TEL 03-3348-7805